

江戸川大学・江戸川短期大学 学 報

目 次

| | |
|--|----|
| 学報の発刊に寄せて | 1 |
| 関係法令 | 2 |
| 社会教育法の一部を改正する法律 | |
| 学校教育法の一部を改正する法律 | |
| <省令> | |
| 大学設置基準の一部を改正する省令 | |
| 短期大学設置基準の一部を改正する省令 | |
| <告示> | |
| 大学設置基準第25条第2項の規程に基づき、 大学が履修させることができる授業等について 定める件 | |
| 主要日程 | 3 |
| 主要日誌 | 4 |
| 諸 報 | 7 |
| 法人本部便り | |
| 企画課便り | |
| 学務課便り | 9 |
| 就職課便り | 11 |
| 入試広報課便り | 12 |
| 図書館便り | |
| 人事異動 | 13 |
| 訃報 | 14 |

学報の発刊に寄せて

謹んで新春のお喜びを申し上げます。輝かしい新年を向かえ、皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

さて、本学も開学してから10年以上を経過し、開学時の2学科に加えて新たに2学科が開設され、現在は社会学部のもとに人間社会学科、マス・コミュニケーション学科、環境情報学科、経営社会学科の4学科体制となりました。

更に来年度からは、文部科学省よりの認可もあり、入学定員も50名増加し、環境情報学科の名称も環境デザイン学科に変更されることとなりました。

また、この間に教職員、学生の数も増加しており、それぞれに対する情報も学科及び担当部署から相当数提供されています。このような状況の中でこれを取りまとめ、情報提供の一環として今回「学報」が本学として初めて発刊されることとなりましたのは、大変喜ばしいことと思っております。今まで組織だった情報提供がなされていなかっただけに、本学としては画期的なことであろうと思います。

本学に籍を置く教員及び職員の皆様にとって、同じ屋根の下で同じ情報を共有することが出来ますことは大変有意義なことであり、大いに活かしてほしいと思います。

今後はこの「学報」を継承して発行し、本学の発展と共に更に内容も充実していくことを望みます。

江戸川大学

学長 太田 次郎

関係法令

社会教育法の一部を改正する法律（法律第106号）

- 1 社会教育主事の資格要件の緩和（第9条の4関係）
- 2 平成13年7月11日付けをもって公布され、同日から施行された。

学校教育法の一部改正を改正する法律（法律第105号）

- 1 大学への飛び入学（第56条関係）
対象分野を問わず、大学が特に優れた資質を有すると認める者は、高等学校を卒業した者等であっても、当該分野に関する教育研究を行っている大学院が置かれている当該大学に入学させることができることとした。
- 2 名誉教授（第68条の3関係）
大学は、勤務年数を問わずに、名誉教授の称号を授与できるようにしたこと。
- 3 平成13年7月11日付けをもって公布され、1は平成14年4月1日から、2は同日から施行されるものである。

<省令>

大学設置基準の一部を改正する省令（文部科学省令第44号）

短期大学設置基準の一部を改正する省令（文部科学省令第46号）

- 1 柔軟かつ機動的な教育研究の展開の観点から、講座等の組織編成の弾力化が図られた。
- 2 教員の教育能力等を従来以上に重視する観点から、教員資格の見直しが図られた。
- 3 情報通信技術の活用の観点から、遠隔授業の在り方及び国境を超えて提供される教育の在り方の見直しが図られた。
- 4 平成13年3月30日に公布され、同日から施行された。

<告示>

大学設置基準第25条第2項の規程に基づき、大学が履修させることができる授業等について定める件（平成13年文部科学省告示第51号）

- 1 従来のものに加え、毎回の授業の実施に当たって設問解答等による指導を併せ行うものであって、かつ当該授業に関する学生の意見の交換の場が確保されているもので、面接授業に相当する教育効果を有すると認めたものを遠隔授業として位置付けられた。
- 2 同時かつ双方向に行われない場合であっても、一定の条件を満たしていれば、遠隔授業として行うことが可能になった。
- 3 平成13年3月30日に公布され、同日から施行された。

主 要 日 程

2002年1月の連絡事項(12月14日現在)

| 日 付 | 事 項 |
|----------|-------------------------|
| 1月1日(火) | 学校完全閉鎖(~3日) |
| 1月4日(金) | 事務局、図書館 9:00~16:00 |
| 1月5日(土) | 事務局 9:00~14:00、図書館閉館 |
| 1月7日(月) | 事務局、図書館 9:00~16:00 |
| 1月8日(火) | 授業開始 |
| 1月16日(水) | 入試センター監督者説明会 |
| 1月19日(土) | センター試験(~20日) |
| 1月21日(月) | 短大後期定期試験(~29日)、大学後期授業終了 |
| 1月22日(火) | 大学後期定期試験(~29日) |
| 1月26日(土) | 江戸川短歌会 |
| 1月29日(火) | 短大後期授業終了 |
| 1月30日(水) | 大学集中講義(~2/2) |

<委員会等>

| 日 付 | 事 項 |
|----------|---------------------|
| 1月9日(水) | 大学教務委員会 |
| 1月10日(木) | 短大運営準備会 |
| 1月11日(金) | 大学学生委員会 |
| 1月16日(水) | 大学教授会、運営委員会 |
| 1月17日(木) | 短大教授会、運営委員会 |
| 1月17日(木) | 語学教育プロジェクト(大学・短大合同) |

一息コラム

- Eリーグ -

11月2日に行われたEリーグオールスターは専門学校チームの選手紹介から開会式が始り、大学選抜(EAST)と大学選抜(WAST)の紹介。次に各監督紹介、協賛紹介がなされた。監督紹介ではEAST-U監督の郡司先生がいつものお約束の「GO!GO!Eリーグ」で会場を沸かす。第一試合は、大学と専門学校との試合で少々荒っぽいが見ごたえのある試合となり、まさに開幕試合にふさわしい試合となった。第二試合は、EAST-UのDF陣は郡司監督の言う通り非常に統率がとれていて、Eリーグのレベルの高さを感じさせてくれる。しかし、WAST-Uが第一試合でかなり疲弊していて、ダブルヘッダーはいかがなものかと思う一面もあった。

11月3日のEリーグオールスター2日目は、Eリーグオールスター優勝決定戦が行われた。この試合は優勝決定戦にふさわしく、両チームの総力戦となった。しかし試合は決め手に欠け、膠着状態におちいる。だが、後半20分に数少ないチャンスを物にしたEAST Uが先取点をもぎ取り、EADOGAWA Eを突き放す。EDOGAWA Eもこのまま終わらせまいと懸命にEAST Uゴールに攻めこむが、無情にも時間だけが過ぎ試合終了のホイッスルが吹かれた。

閉会式で、太田学長が「皆さん、雨の中ご苦労様でした。優勝チームおめでとう。これからも元気で大学・専門の別なくがんばっていてもらいたいです。」と述べられたようにEリーグが、大学・短大・専門を問わずに交流していける場として益々の発展を願ってやまない。

(江戸川大学新聞部寄稿)

主 要 日 誌

2001年4月から12月までの主な出来事

今号は年度途中から始まりましたので、4月から12月までの行事、委員会、入試等の日程をまとめました。

| 日 付 | 事 項 |
|-----------|--------------------------|
| 4月3日(火) | 教員全体会、辞令交付(大学学長) |
| 4月5日(木) | 辞令交付(理事長) |
| 5月10日(木) | 会計検査院実地検査(～11日) |
| 5月12日(土) | 春の公開講座(～6/2) |
| 5月16日(水) | 太田学長受勲祝賀会 |
| 5月19日(土) | 環境情報学会総会 |
| 5月19日(土) | 流山市 IT 講習会(6/16, 23, 30) |
| 6月20日(水) | 絹川正吉氏(国際基督教大学学長)講演会 |
| 7月7日(土) | 流山市 IT 講習会(7/8, 14, 15) |
| 8月4日(土) | オープンキャンパス(8/25, 9/22) |
| 9月26日(水) | 大学学長候補者選考委員会 |
| 10月13日(土) | 秋の公開講座(～27日) |
| 10月27日(土) | オープンキャンパス |
| 11月3日(土) | 大学・短大後援会役員会 |
| 11月5日(月) | 創立記念日 |
| 11月15日(木) | 平成14年度科学研究費補助金申請の事務局受付〆切 |
| 11月21日(水) | 全国高校放送コンクール第2次審査 |
| 12月1日(土) | 流山市 IT 講習会(～22日) |
| 12月1日(土) | 学内共同研究申請期間(～10日) |
| 12月8日(土) | レディースアカデミー講座(～1/27) |
| 12月19日(水) | 大学補講(～21日) |
| 12月25日(火) | 事務局、図書館 9:00～16:00(～28日) |
| 12月29日(土) | 学校完全閉鎖(～31日) |

< 学生行事 >

| 日 付 | 大 学 | 日 付 | 短 大 |
|------------|----------------------|-----------|-----------------------------|
| 4月4日(水) | 入学式 | 4月4日(水) | 入学式 |
| 4月10日(火) | 前期授業開始 | 4月9日(月) | ルッシュマン・キャンプ(～11日) |
| 5月2日(水) | 江戸川ウォーク | 4月12日(火) | 前期授業開始 |
| 6月12日(火) | 留学生懇親会 | 6月25日(月) | 授業評価(～29日) |
| 6月12日(火) | 川口幹夫客員教授特別講義 | 7月10日(火) | 語学研修結団式 |
| 7月7日(土) | 前期授業終了 | 7月13日(金) | 前期定期試験(～23日) |
| 7月9日(月) | 補講(～12日) | " | イギリス語学研修(～9/17) |
| 7月13日(金) | 前期定期試験(～23日) | 7月24日(火) | 文化史探訪(～26日) |
| 7月24日(火) | 夏季休業開始 | 7月24日(火) | 夏季休業開始 |
| " | 環境情報フロンティア研修(～8/7) | 8月27日(月) | イギリス語学研修(～9/17) |
| 8月30日(木) | 海外研修結団式 | 9月1日(土) | 集中講義(～10日) |
| 9月1日(土) | 集中講義(～10日) | 9月11日(火) | English Training Camp(～13日) |
| 9月1, 2, 3日 | 海外研修出発(～21, 22, 23日) | 9月21日(金) | 追再試(26日) |
| 9月17日(月) | 後期授業開始(2～4年) | 9月27日(木) | 後期授業開始 |
| 9月21日(金) | 追試験(2～4年) | 11月2日(金) | 学園祭(～3日) |
| 9月28日(金) | 後期授業開始(1年) | 11月29日(木) | 学生リーダー候補者面接 |
| 10月3日(水) | 9月期学位授与式 | 12月6日(木) | 卒業研究提出日 |
| 11月2日(金) | 学園祭(～3日) | | |
| 11月13日(火) | マッセイ大学特待生試験 | | |
| 12月20日(木) | 卒業論文提出日 | | |

< 大学・短大合同委員会 >

| | | | | | | | | | |
|------------|------|-----|-------|-------|--|--|--|--|--|
| 語学共同プロジェクト | 5/30 | 7/4 | 10/25 | 11/22 | | | | | |
|------------|------|-----|-------|-------|--|--|--|--|--|

< 大学委員会 >

| | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|----------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 教授会 | 4/18 | 5/16 | 6/20 | 7/18 | 9/26 | 10/17 | 11/10 | 11/14 | 12/12 |
| 学科委員会 | 4/18 | 5/6 | 6/1 | 7/18 | 9/26 | 12/12 | | | |
| 広報委員会 | 4/25 | 11/7 | | | | | | | |
| 入試管理委員会 | 4/25 | 8/25 | 10/17 | 11/10 | 12/5 | | | | |
| 教務委員会 | 4/11 | 5/9 | 6/6 | 7/11 | 9/19 | 10/10 | 11/7 | 12/5 | |
| 学生委員会 | 4/25 | 5/23 | 7/4 | 10/24 | | | | | |
| 学長諮問委員会 | 5/9 | 6/6 | 7/11 | 10/3 | 11/7 | 12/5 | | | |
| 運営委員会 | 4/18 | 5/16 | 6/20 | 7/18 | 9/26 | 10/17 | 11/10 | 12/12 | |
| A0 委員会 | 4/25 | 8/25 | 10/10 | | | | | | |
| 図書館運営委員会 | 5/9 | | | | | | | | |
| 研究・紀要委員会 | 5/8 | 11/13 | | | | | | | |
| 自己点検委員会 | 5/16 | 10/31 | | | | | | | |
| ネットワーク利用委員会 | 5/23 | | | | | | | | |
| EDONET センター運営管理委員会 | 5/23 | | | | | | | | |
| LAN 連絡会議 | 5/25 | 7/6 | 9/11 | 10/9 | | | | | |
| 公開講座委員会 | 6/13 | 12/5, 19 | | | | | | | |
| 海外研修委員会 | 7/4 | 10/3 | | | | | | | |
| 学内研究交流会 | 7/18 | | | | | | | | |
| エウレカ編集委員会 | 10/24 | | | | | | | | |
| 教員資格審査委員会 | 11/28 | | | | | | | | |

< 短大委員会 >

| | | | | | | | | |
|---------|------|----------|------|------|-------|--------------|----------|-------|
| 教授会 | 4/19 | 5/17 | 6/14 | 7/12 | 9/13 | 10/11 | 11/10 | 12/13 |
| 広報委員会 | 6/21 | 6/28 | | | | | | |
| 教務委員会 | 5/24 | 6/21, 28 | 7/12 | 10/4 | 10/25 | 12/6 | | |
| 学生委員会 | 10/4 | | | | | | | |
| 運営準備会 | 4/16 | 5/10, 24 | 6/7 | 7/5 | 9/6 | 10/4, 18, 25 | 11/8, 15 | 12/6 |
| 運営委員会 | 4/19 | 5/17 | 6/14 | 7/12 | 9/13 | 10/11 | 12/13 | |
| 就職委員会 | 4/26 | | | | | | | |
| 紀要委員会 | 5/24 | 6/21, 28 | | | | | | |
| 公開講座委員会 | 6/21 | | | | | | | |

<入試日程>

| 区 分 | | 入学願書受付期間 | 選考日 | 合格 発表日 | 入学手続期間 | 入学 辞退 | 面接 会場 |
|--------|--------------------------------------|---------------|---------------------|------------|---------------|------------|----------------|
| 短 大 | 公募推薦入試 期 自己推薦入試 期 | 10/29月～11/7水 | 11/10土 | 11/15 木 | 11/19月～11/22木 | | |
| | 公募推薦入試 期 自己推薦入試 期 | 11/26月～12/13木 | 12/8土 ～15土 | 所定日 | 所定日 | | |
| | 一般入試 | 1/15火～1/29火 | 2/1金 ～3日 | 2/5火 | 2/7木～2/13水 | 3/16 正午 | |
| 大 学 | 留学生入試 期 3年次編入入試 期 | 9/17月～9/27木 | 9/29土 | 10/2火 | 10/4木～10/10水 | | |
| | 推薦入試(併設校,部活 動推薦,専門高校総合学科 推薦含む) | 10/29月～11/7水 | 11/10土 | 11/15 木 | 11/19月～11/22木 | | |
| | 一般入試A方式 一般入試B方式 | 1/15火～1/30水 | 2/1金 ～3日 2/4月 | 2/8金 | 2/13水～2/15金 | 3/16 正午 | |
| | センター利用入試 | 1/15火～1/30水 | 2/1金 ～3日 | 2/8金 | 2/13水～2/15金 | 3/16 正午 | 駒木 仙台 静岡 |
| | 留学生入試 期 3年次編入入試 期 | 2/4月～2/14木 | 2/16土 | 2/19火 | 2/21木～2/26火 | | |
| | ユニーク入試 | 2/25月～3/7木 | 3/9土 | 3/11月 | 3/13水～3/15金 | 3/16 正午 | |

<AO入試>

| 区 分 | | エントリー受付期間 | 面談日 | 合格内定 発表日 | 出願手続期間 | 合格 発表日 |
|--------|---|-------------|--------------|---------------|--------------|-----------|
| 短 大 | | 6/1金～3/15金 | 毎木 第2,4土 | 9/1土 以降、随時 | 随時 | 随時 |
| 大 学 | 期 | 6/1金～10/31水 | 毎水、 第2,4土 | 9/1土 以降、随時 | 10/29月～11/7水 | 11/15木 |
| | 期 | 12/1土～1/10日 | 毎水、 第2,4土 | 9/1土 以降、随時 | 1/15火～1/30水 | 2/8金 |
| | 期 | 2/11月～2/28木 | 毎水、 第2,4土 | 9/1土 以降、随時 | 2/25月～3/7木 | 3/11月 |

諸 報

【法人本部便り】

会計検査院実地検査（5月10日・11日実施）の結果について

9月19日に日本私立学校振興・共済事業団より、不当事項該当項目なし、として口頭報告を受けました。今後の補助金申請に際しては、引き続き不当事項の指摘を受けないよう厳格に対処していく所存ですので、関係各位のご協力の程宜しくお願いいたします。

キャンパス内バリアフリー対策について

身障者ならびに教職員・学生の利便性の向上を目的として、E(大学)棟内にて、夏休み期間中に次の2件の改修工事を実施し、本年9月中旬から使用を開始しました。

正面入口右側階段（1～3階）の拡幅

1階学生ホール側突き当たり奥にエレベーター1基（身障者対応11人乗り）の設置

【企画課便り】

環境情報学科の名称変更認可について

平成13年10月23日付で環境情報学科の名称変更が認可されました。よって、平成14年4月1日から環境情報学科は「環境デザイン学科（Department of Environmental Design）」となります。

なお、現に在学する学生は従前の例によりますので、関係部署は遺漏のないよう対応をお願いいたします。

短大の入学定員の一部50名を大学の入学定員に振替える件について

平成13年10月30日付で大学の収容定員の増加及び短大の収容定員の減少に係る学則変更について認可されました。

よって、平成14年度より大学の入学定員は、人間社会学科+20人、マ・コミュニケーション学科+25人、環境情報学科+5人となりますが、臨定が解消する平成16年度までは下記表1・2のとおりとなります。

<表1 大学の入学定員・収容定員>

| 年度 | 平成13年度 | | 平成14年度 | | 平成15年度 | | 平成16年度 | |
|-----|-------------|---------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------|-----|
| | 入定 | 収定 | 入定 | 収定 | 入定 | 収定 | 入定 | 収定 |
| 人間 | (15) 115 | (60) 460 | (10) 130 | (40) 520 | | | | |
| マ・コ | (15) 135 | (60) 540 | (10) 155 | (40) 620 | (10) 155 | (40) 620 | 145 | 580 |
| 環境 | 85 | 340 | 90 | 360 | 90 | 360 | 90 | 360 |
| 経営 | 100 | 400 | 100 | 400 | 100 | 400 | 100 | 400 |
| 計 | (30) 435 | (120) 1740 | (20) 475 | (80) 1900 | (10) 465 | (40) 1860 | | |

()は臨時的定員で内数。

<表2 短大の入学定員・収容定員>

| 年度 | 平成13年度 | | 平成14年度 | | 平成15年度 | | 平成16年度 | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|-----|
| | 入定 | 収定 | 入定 | 収定 | 入定 | 収定 | 入定 | 収定 |
| 文化コミュニケーション | (54) 254 | (108) 508 | (36) 186 | (72) 372 | (18) 168 | (36) 336 | 150 | 300 |
| 計 | (54) 254 | (108) 508 | (36) 186 | (72) 372 | (18) 168 | (36) 336 | 150 | 300 |

8 ()は臨時的定員で内数。

江戸大生 第1回「コマーシャルコンテストかしわ発見」でグランプリ

マス・コミュニケーション学科2年生の與座綾乃さん、大金みず樹さん、村上敦彦さん、田中一也さん、3年生の中島祐一郎さんら5人のグループ「マイクロ フィッチ」の作品が、柏市のコマーシャルコンテストで見事グランプリと賞金百万円を獲得しました。このコンテストは“Discover KASHIWA”をスローガンに、柏市・柏商工会議所・駅周辺イメージアップ推進協議会が主催し、ストリート・プレイカース（商工会議所青年部）が企画運営したものです。今年五月から募集を開始し49作品の応募がありました。

最新の機材で高度な技術を駆使した作品もある中でグランプリに輝いたこの作品は、自作の編集機を使った手作りの温かみを感じさせる仕上がり。見慣れた柏の風景をバックに、かつて柏に住んでいた男性がしんみりと柏のまちを懐かしむ表情をとらえ、キャッチコピーは、「柏がいいね」。“帰ってきたいまち”、そこで暮らす人々のこころの拠りどころであるまち、を表現したかった、と自分たちの作品を熱く語る姿はとても生き生きしていました。

じつはこの作品、先生方のアドバイスもあり、締切り1ヶ月前にそれまでの構想をすべて白紙に戻して案を練り直し、なんと前日に撮影したものなのだそうです。そのため、「跳び上がって叫びたい気分」と喜びもひとしお。さらに、来年の同コンテストへ向けての意欲も満々で、早くもアイデアが次々と浮かんでいるとか。そこで、大学に対する要望を聞いてみたところ、DVDが使える編集機がほしい、編集室の使用時間を延長してほしい、とのことでした。そんな彼らの夢は、放送ドラマ制作、ラジオ番組制作、アナウンサー、編集者などさまざま。この受賞をパネに将来の夢に向かってがんばってもらいたいものです。

なお、作品はケーブルTVなどでも紹介されたほか、柏市のホームページでも公開されています。



中島祐一郎さん 村上敦彦さん 大金みず樹さん 與座綾乃さん 田中一也さん

秋の公開講座について

大学・短大の共催にて6講座が、10月6、13、20、27日(土)の全4回行われ、145人の受講生が集まりました。受講生の90%が50代以上、半分以上が流山市・柏市の住民でした。講座終了後のアンケートでは、全体的に満足度も高く、地域貢献という目的は達していると思われませんが、テーマや開講回数について意見も多く寄せられ、今後の参考にしたいと検討しております。

<表1 公開講座受講者数と受講料>

| 区分 | 講座名 | 受講者数 | 受講料 |
|----|------------------------|------|---------|
| 大学 | A「人間は暴力をこえられるか？」 | 19人 | 2,000円 |
| | B「インターネットで情報発信」 | 25人 | 10,000円 |
| 短大 | C「篆刻」 | 13人 | 7,000円 |
| | D「文学への誘い」 | 30人 | 2,000円 |
| | E「アメリカの旅入門」 | 30人 | 2,000円 |
| | F「これから始めるコンピュータのある暮らし」 | 28人 | 10,000円 |
| | 計 | 145人 | |

【学務課便り】**A(本部)棟 教職員談話室について**

大学の将来構想などを教職員で話し合うことを目的として、A棟7階の第二会議室と第三会議室の間に、「教職員談話室」を設置しました。今後、資料も充実させていく予定です。予約は必要ありませんので昼食時など是非ご活用ください。

**A(本部)棟 第三会議室について**

A棟7階の第三会議室の増改築工事が終了し、同会議室の座席数は、全60席となりました。使用日の1週間前までに学務課にて予約の手続を取ることで、教職員は使用できます。但し、教授会の使用を優先とします。

光触媒インテリアグリーン『エアシス(AIRSIS)』について

12月中旬にAOセンター、A棟7,8階エレベーターホール、談話室及び1階事務局に人工観葉植物『エアシス』が設置されました。植物が太陽の光を浴び、光合成により酸素を生み出すように、エアシスは、葉にコーティングされた酸化チタンが太陽や蛍光灯の光(紫外線)のエネルギーを吸収し、葉の表面で有機物を分解します。タバコの臭いなどの悪臭を分解する脱臭・抗菌効果による室内の空気のクリーン化、並びにグリーンによるリラクゼーション効果が期待されます。

平成14年度科学研究費補助金の申請終了について

大学からは基盤研究(B)に大内田鶴子助教授、基盤研究(C)に新井正彦、小田一郎両助教授の計3件の申請があり11月12日に研究計画調書等を日本学術振興会に提出しました。交付の内定は翌年4月頃に通知されますが、阿南透助教授は平成12年度から14年度までの継続研究が確定しています。

なお、今回は短大からの申請はありませんでした。

学園祭について

去る11月2日(金)・3日(祝)平成13年度三芽祭が行われました。

今年のテーマは「彩」。三校独自の色を学園祭というパレットで混合させることによって輝きを増す、という意味です。

Eリーグオールスター戦、お笑いライブ(今年はBOOMER、ストロングマイマイズ)、映画上映、ミス・ミスターコンテスト、江戸川ライブ、エアロビクス、各団体の趣向を凝らした出し物や展示、模擬店など、学園祭は全学をあげての一大イベントです。

初日は青空が広がり絶好の学園祭日和だったのですが、3日はあいにくの曇り空。しかも午後から雨が降り始め、4時半からアリーナ前ステージで予定されていた後夜祭の場所が映像ホールに変更、

楽しみにされていた花火も打ち上げ中止、屋台村もやむなく閉店、となってしまいました。それでも学生はパワー全開、雨もなんのその、ひとりひとりが普段とはまた違った、活気あふれる表情をみせていました。

今年は直前になって実行委員がつぎつぎと辞めていったり、パンフレットの完成が大幅に遅れたりということで、各方面から心配する声もありましたが、学園祭を終えて振り返ってみると、さして大きな事故もなく、無事に幕を閉じることができたのは何よりだったと思います。また、東奔西走した実行委員たちの頑張りにも頭が下がる思いです。そして来年もまた、今年以上の盛大な学園祭となることを期待しています。

学友会役員選挙について

江戸川大学学友会選挙管理委員会より、平成14年度江戸川大学学友会執行部役員選挙についての報告がありました。

募集役職は、会長(1名)、副会長(2名)、会計・書記・総務(若干名)、任期は平成14年4月から平成15年3月まで。選挙は12月10日(月)～14日(金)、昼休みに学生食堂アリーナ前に行われます。なお、今回の選挙では、各役職ともに定数もしくは定数未満であるため、信任投票となりました。立候補者は下記のとおりです。

| | |
|-----|-------------------------|
| 会 長 | 山田加奈子(マス・コミュニケーション学科2年) |
| 副会長 | 杉浦 弘樹(人間社会学科1年) |
| 会 計 | 菊地 瑠美(経営社会学科1年) |
| 書 記 | 池内 克英(環境情報学科3年) |
| 総 務 | 成平 竜太(人間社会学科3年) |

学生課外活動(体育会系)について

学生の活躍をお知らせする為、学内バス停前の立看板やメモリアルホール前に賞状を掲示するなどしておりますが、上位入賞も含め学生課外活動を下記表にまとめましたのでご覧下さい。

| 団体名 | 2001年度活動実績 |
|-------------|---|
| アメリカフットボール部 | 関東大学アメリカフットボールリーグ(一部リーグ、IIAリーグ A~Dブロック、医科歯科リーグ) 秋季リーグ戦 IIAブロック 優勝 部昇格への入替戦出場 |
| 競技スキー部 | 2002年 ｲｶﾙ、ﾏﾐ五竜ｼｰｽﾞ ｶｯﾌﾟ 出場予定 |
| 硬式テニス部 | 関東学生テニス連盟 7部(1部~7部) 関東学生テニスナット大会(春)、関東学生テニス選手権大会(夏)、 関東学生新進テニス選手権大会(新人戦) シングルス 初戦敗退 関東大学対抗テニス選手権大会(秋) 予選リーグ 1勝 千葉県学生テニス対抗戦 |
| サッカー部 | 千葉県大学サッカーリーグ 1部 5位(1部 8校、2部 11校) 天皇杯全日本選手権 2回戦進出 |
| 軟式野球部 | 第18回東関東大学軟式野球リーグ戦(東Aリーグ 5校、東Bリーグ 6校、西リーグ 5校) 春季リーグ戦 東Aリーグ 4位 王座決定戦に進めず敗退 秋季リーグ戦 東Aリーグ 4位 |
| バスケットボール部 | 第50回関東大学バスケットボール選手権大会 初戦敗退 第41回関東大学バスケットボール新人戦 予選決勝進出するも敗退 第77回関東大学バスケットボールリーグ戦 6部 8位(1部~7部、全125校中 85位) |
| バドミントン部 | 千葉県学生バドミントンリーグ戦 春季リーグ戦 男子 4部 3位(1部~4部) 女子 1部 3位(1部~3部) 秋季リーグ戦 男子 4部 2位(") 女子 1部 4位(") |
| バレーボール部男子 | 春季関東大学バレーボールリーグ戦 13部 3位(1部~14部) 秋季関東大学バレーボールリーグ戦 14部 1位(") 東日本大学バレーボール選手権大会(ｲｶﾙ) 初戦敗退 千葉リーグ 初戦敗退 |

| | |
|-----------|---|
| バレーボール部女子 | 春季関東大学バレーボールリーグ戦 13部 4位 (1部～13部) 秋季関東大学バレーボールリーグ戦 13部 4位 (") 千葉リーグ 初戦敗退 |
| ラグビー部 | 千葉リーグ 秋季リーグ戦 5位 (6校中) |
| ボート愛好会 | 全日本選手権大会 門馬 女子シングルス 6位、田中・谷田川 男子ダブルス 8位 全日本軽量級選手権大会 田中 男子シングルス 6位 第28回全日本大学選手権大会(イカ) 門馬 女子シングルス 3位、田中・谷田川 男子ダブルス 5位 全日本国民体育大会(国体) 谷田川(茨城選抜) 成年男子の部 ダブルス 6位 |
| 水泳愛好会 | 第56回国民体育大会宮城県予選会水泳競技大会 関沼 成年男子100M平泳ぎ 2位 第43回柏市民水泳大会 関沼 100M個人ドレー 1位 100M平泳ぎ 2位 50M平泳ぎ 2位 |

【就職課便り】

今年度の就職状況は、厳選採用の続くなか、現時点では昨年並みに推移しているものの、依然として低水準であります。特に平成13年9月、米国で起きた同時多発テロの影響で、更に経済状況の悪化は否めず、今後未内定者の就職活動は、以前にも増して苦戦が予想されます。詳細は下記のとおり。

- 大学・内定率前年比 前年内定率 59% (1%)
 ・求人社数 前年 1,197社 今年 1,143社 (5%)
 短大・内定率前年比 前年内定率 46% (2%)
 ・求人社数 前年 643社 今年 712社 (13.8%)

<表1 江戸川大学就職状況(2001年10月31日現在)>

| 項目 | 応用社会 | | マス・コミュニケーション | | 環境情報 | | 計 | |
|--------|------|-----|--------------|-----|------|-----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 卒業予定者数 | 120 | 43 | 82 | 80 | 60 | 39 | 262 | 162 |
| 就職希望者数 | 93 | 31 | 62 | 60 | 43 | 28 | 198 | 119 |
| 就職意志なし | 27 | 12 | 20 | 20 | 17 | 11 | 64 | 43 |
| 内定数 | 48 | 22 | 36 | 39 | 25 | 14 | 109 | 75 |
| 内定率 | 52% | 71% | 58% | 65% | 58% | 50% | 55% | 63% |

<表2 江戸川短期大学就職状況(2001年10月31日現在)>

| 項目 | 日本文学 | 英語英文学 | 文化史 | 計 |
|--------|------|-------|-----|-----|
| 卒業予定者数 | 69 | 89 | 82 | 240 |
| 就職希望数 | 47 | 68 | 62 | 177 |
| 就職意志なし | 22 | 21 | 20 | 63 |
| 内定数 | 19 | 33 | 29 | 81 |
| 内定率 | 40% | 49% | 47% | 46% |

【入試広報課便り】

オープンキャンパスについて

今年度は4回開催し、960名を超える高校生が訪れました。パソコン体験や模擬授業を行い、実際の大学の授業を体験できるイベントや、教員による入試相談や職員の学生生活相談コーナー、在学生による学生生活紹介など一対一で説明が聞くことができるコーナーを設けるなど皆さんのご協力を得て、アンケートでは、良さが理解できたとした高校生が大学・短大とも36%(複数回答あり)いました。(回答率:大学63%、短大50%)

<表1 オープンキャンパス参加者数>

| 開催日 | 大学 | 短大 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|
| 8月5日 | 271 | 122 | 393 |
| 8月25日 | 191 | 93 | 284 |
| 9月22日 | 127 | 49 | 176 |
| 10月27日 | 88 | 28 | 116 |
| 計 | 677 | 292 | 969 |

AO入試について

6月1日からエントリーを受付し、短大は随時、大学は 期を終えました。現在エントリー者数等は、下記表のとおりとなっております。

<表2 AO入試データ(2001年11月29日現在)>

| | 大学 | 短大 | 計 |
|---------|-----|----|-----|
| エントリー者数 | 226 | 82 | 308 |
| 合格内定者数 | 187 | 74 | 261 |
| 出願者数 | 183 | 69 | 252 |

【図書館便り】

「雑誌記事索引」について

『雑誌記事索引』は、国立国会図書館に所蔵されている主要雑誌・紀要など3000タイトルの記事情報を集めたデータベースで、1975年から現在までに掲載された記事のタイトル、著者、誌名やページ数などを検索することができ、文献を入手する上で非常に役に立つデータベースです。本学では、このデータベースをオンラインで利用できるようになりました。学内のインターネットが利用できる端末なら、誰でも利用することができます。CD-ROMではなくオンラインデータベースにアクセスするため、今までにはできなかった複数年の横断検索が可能となっております。

『エウレカ』第25号(2001年7月15日刊行)について

今号も、各先生方、学生の皆さんからいただいた図書を紹介を中心にしています。卒業生に原稿を依頼した「私と卒論」もあり、卒論の制作にかかっている学生の参考にもなると思います。

人 事 異 動

理事長発令

| 発令年月日 | 異動内容 | 氏名 | 現職等 | 前職 |
|----------|----------------|--------|---------------------|-------------------|
| 13. 3.31 | (大学教員) 退職 | 小笠原 祐子 | | 助教授 人間社会学科 |
| " | 任期満了退職 | 矢津 健三 | | 特任教授 人間社会学科 |
| " | 定年退職 | 戸塚 績 | | 教授 環境情報学科 |
| " | " | 木原 啓吉 | | " " |
| " | " | 牧野 信彦 | | 教授 マス・コミュニケーション学科 |
| 13. 4. 1 | 採用 | 木原 啓吉 | 特任教授 環境情報学科 | 前掲 |
| " | " | 牧野 信彦 | 特任教授 マス・コミュニケーション学科 | 前掲 |
| " | " | 市村 佑一 | 教授 マス・コミュニケーション学科 | NHK エディトリアル顧問 |
| " | " | 大江田 清志 | 教授 経営社会学科 | 函館大学商学部教授 |
| " | " | 榎本 勉 | " " | バイエル㈱取締役管理本部長 |
| " | " | 蛭川 立 | 助教授 人間社会学科 | 東邦大学非常勤講師 |
| " | 昇任 | 伊藤 勝 | 教授 環境情報学科 | 助教授 環境情報学科 |
| " | " | 米村 恵子 | " " | " " |
| " | " | 平山 満紀 | 助教授 人間社会学科 | 講師 人間社会学科 |
| " | " | 上瀬 由美子 | " " | " " |
| " | " | 新井 正彦 | 助教授 マス・コミュニケーション学科 | 講師 マス・コミュニケーション学科 |
| " | " | 木内 英仁 | " " | " " |
| 13. 3.31 | (短大教員) 定年退職 | 鈴木 仲秋 | | 教授 文化コミュニケーション学科 |
| 13. 4. 1 | 採用 | " | 特任教授 文化コミュニケーション学科 | 前掲 |
| 13. 3.31 | (職員) 退職 | 田村 文枝 | | 学務課 |
| 13. 4. 1 | 採用 | 木内 英介 | LAN 基幹センター | 丸善株式会社 |
| 13. 4.30 | 退職 | 水嶋 晃利 | | 入試広報課 |
| 13. 5.31 | " | 古川 喜春 | | " |
| 13. 6.30 | " | 田中 健二 | | 学務課長補佐 |
| 13. 7. 1 | 採用 | 土屋 達彦 | 学務課長 | 筑波大学学務第一課長 |
| " | " | 宮川 実樹典 | 入試広報課 | 千葉信用金庫 |
| " | 配置換 | 渡辺 紘一 | 企画課長 | 学務課長 |
| " | " | 加茂 郷子 | 企画課 | 学務課 |
| " | " | 江花 栄二 | 入試広報課 | " |
| 13. 3.19 | (法人本部) 採用 | 松岡 一成 | 総務部副部長 | あさひ銀行 |
| 13. 4.18 | " | 平井 成樹 | 総務課長 | みずほファイナンシャルグループ |
| 13. 6.30 | 退職 | 鈴木 三男 | | 総務課長 |

短大学長発令

| 発令年月日 | 発令内容 | 氏名 | 役職 | 現職 | 任期満了日 |
|----------|------|-------|---------|----------------------|----------|
| 13. 4. 1 | 委嘱 | 原田 昌明 | 学科長 | 教授 文化コミュニケーション学科 | 15. 3.31 |
| " | 委嘱 | 黒崎 輝人 | 図書館長 | 教授 文化コミュニケーション学科 | " |
| " | 委嘱 | 北原 由夫 | 入試・広報部長 | 副学長 教授 文化コミュニケーション学科 | " |

訃報

諸星 静次郎氏（江戸川大学初代学長）

去る平成 13 年 1 月 5 日午前 10 時 32 分頃、肺炎の為急逝されました。通夜及び告別式は郷里の府中市で営まれました。享年 86 歳。

同氏は、大正 3 年 3 月 24 日に生まれ、昭和 14 年九州帝国大学を卒業され、昭和 20 年農学博士の学位を取得されました。昭和 14 年に郡是製糸株式会社に研究所員として入社、昭和 25 年に同社蚕桑研究所長に昇任されました。その後、昭和 38 年に東京農工大学農学部教授に着任され、同大学学部長、名誉教授、農水産系連合大学院準備室長を経て、昭和 54 年に学長に就任されました。

ご専門は農学で、大学の卒業論文である「蚕の眠性の生理遺伝学的研究」を一生涯のテーマとし研究を続けてこられ、昭和 58 年には日本学士院賞を受賞されました。

「どんな学問であれ取り組む姿勢は同じ」と平成 2 年江戸川大学開学とともに学長に就任され、平成 9 年 12 月まで本学の発展にご尽力いただきました。

新井 章氏（元江戸川大学教授）

去る平成 13 年 6 月 11 日午前 6 時 38 分頃、肝硬変により逝去されました。通夜及び告別式は東京都港区の光専寺で営まれました。享年 76 歳。

同氏は、大正 13 年 10 月 12 日に生まれ、昭和 20 年 10 月長野青年師範学校を卒業された後、長野県小野青年学校を始め数々の学校で教諭を歴任されるなか、昭和 33 年国学院大学文学部文学科を卒業されました。昭和 45 年 4 月から東京都江東区亀戸中学校で教頭をなさり、昭和 60 年から江戸川女子短期大学教授、人文学科長に着任されました。また、平成 2 年には江戸川大学教授の教養部長に就任され、学生の文章表現教育に多大な貢献をなされました。

「島木赤彦」「松井芒人論」「房総の歌人群像」等多数著書をお持ちで、歌詞「水門」や「千葉日報」歌壇等の選者でもいらっしゃいました。

生前の多くのご功績に対して、深い敬意と感謝の念を捧げつつ、両氏の訃報を、深い悲しみを持って、ここにお伝え致します。

事務局各課や法人本部のご協力を得て、この度新春創刊号を
発刊することができました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

学報は、学内情報の円滑化を目的とし、全教職員を対象に作
成しました。

今後より良いものにしていく為に、ご意見・ご感想、掲載希
望する記事がございましたら、企画課までお寄せください。

また、企画課に対するご要望がございましたら、ご遠慮なく
お寄せください。

皆様、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

e-mail:kikaku@edogawa-u.ac.jp

江戸川大学・江戸川短期大学学報 Vol.1 No.1 (通巻1号)
2002年1月1日発行

編集 江戸川大学・江戸川短期大学事務局企画課

発行 〒270-0198 千葉県流山市駒木 474

TEL0471-52-0661

印刷 株式会社和田フォトリソ印刷

〒133-0057 東京都江戸川区本一色 1-24-2

TEL03-5607-5008

学報に掲載された記事を無断転載することを禁じます。



バラとかすみ草

誰もが知っている花ですが、この花は事務局の女性化粧室のかたすみにいけてあったものです。1年を通し、季節の花を飾りつづけてくださっている方がいます。

それは、“掃除のおばちゃん”でした。

学校という教育の場で、ちょっとした心遣いや思いやりの大切さを教えていただいたような気がします。

学生本位の教育を実現する為には、教職員の協力がかかせません。そんなお手本にこの花はなっているようです。